

「ときわ呉の1年を振り返って」

施設長 三宅 進

多くの方々から期待された「ときわ呉」ですが、やっと1年が経過しました。この施設は美しい呉湾を見下ろせ、周辺にスパーマーケットなどが立ち並ぶにぎやかな場所で、重心施設として新しい取り組みが期待されることだと思えます。開設日には、わずか3人の入所者で、必要物品も泥縄式に揃えてまいりましたが、現在30余名の入所者になりました。通園も毎日5名前後の方が利用しております。患者様の中では予想外に超重症の方が多く、なかでも呼吸器管理が必要な方が4名おられます。医療、看護、療養にいつそう勉強、研究、工夫が必要と痛感しております。よりよい療育を目指し職員一同団結して頑張り、利用者様や御家族に満足していただけるよう努めたいとおもいます。今後さらなるご支援、ご鞭撻をお願いいたします。



「一歩一歩」

和の会会長 田中 啓介

昨年、広島県南部に位置する呉市に待望の重症心身障害児施設(当時)ときわ呉の誕生と共に、職員による会「和(なごみ)の会」が発足しました。開設当初に比べ、職員も徐々に増えてまいりました。経験豊富な方も多く、皆で建設的な意見を交わし、利用者中心の療育が遂行できるよう日々業務改善に取り組んでいます。未熟ではありますが、志を高くし、当施設の理念である「恕・和・誠」の心で、職員相互の融和と知識や技術の向上を目指し、利用者にとっての幸せの追求、愛される施設となるよう努力してまいります。今後とも叱咤激励のほど宜しくお願い致します。

「保護者会より」

保護者会 会長 砂古 美智子

昨年二月一日に施設が開設され、入所者保護者、職員の皆様、それぞれが、大きな不安を抱えて入所者三名からのスタートでした。順次新入所者を迎え、現在三十七名になり和気藹藹とした気風を感じています。行事も月を重ねる度に充実し、保護者の参加も増えて来ました。中でも、ときわ呉祭り(夏)には、宮原警古屋地区の皆様による、フラダンス、ひよっとこ踊りを御披露頂き大変楽しいひとときを、親子ともに過ごせた事は、大切な思い出として残せました。当日お忙しい中、多くの地域の皆様が御参加下さり誠に有り難うございました。

ともあれ、無事に一周年を迎える事が出来ました。御指導頂いた皆様に心より感謝致します。

皆さまのご支援のおかげにより一周年を迎えることができました。ありがとうございます。これからも利用者またご家族の皆さまに、そして、地域に愛される施設を目指し、地域福祉に貢献したく考えておりますので、宜しくお願い致します。

